

点灯式楽しかつタネ！  
いいたて村の道の駅までい館イルミネーション

[特集]

新しい年を迎えてー



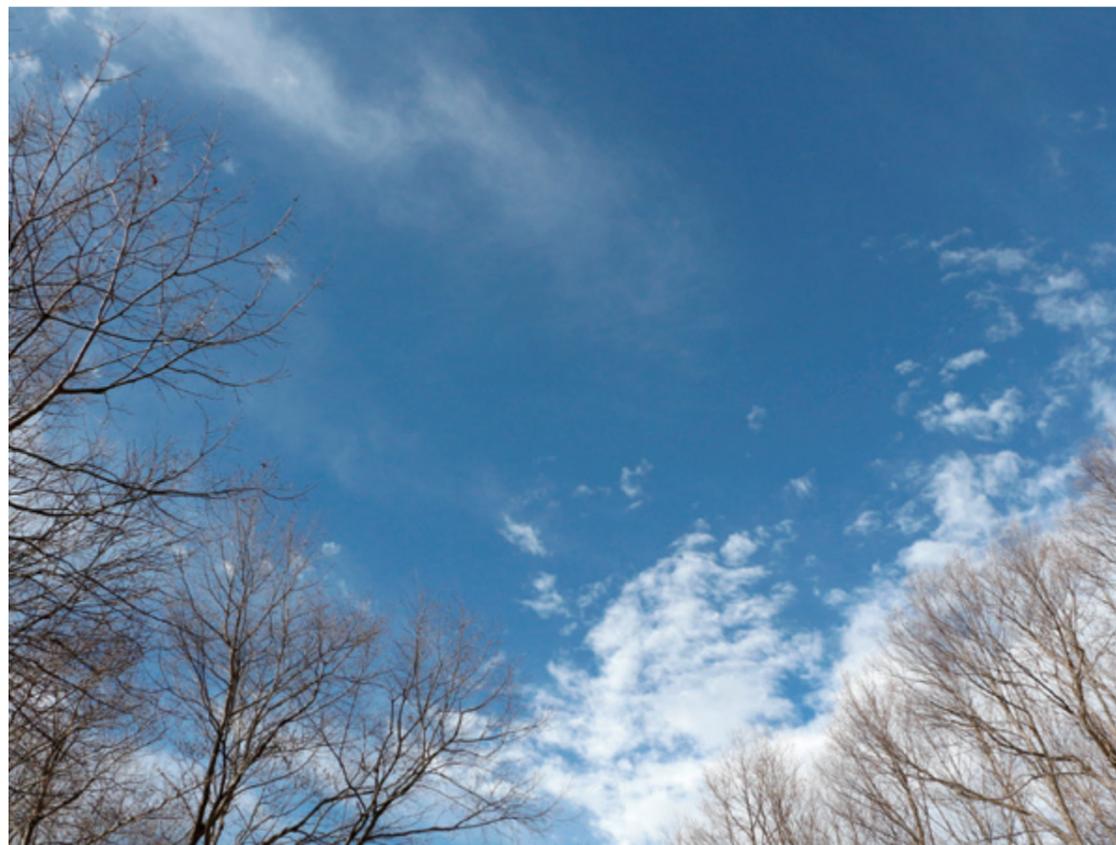
# 平成三十年が始まります どんな一年にしましょうか

平成29年3月末に、長泥地区を除き避難指示が解除された飯館村。安全性を確認しながら、農産物の生産・販売も再開されました。自家用のみの生産も合わせると、約200世帯が作付けを再開しており、来年さらに増加する見込みです。入浴施設のみが再開していた宿泊体験館「きこり」は改修が進み、5月から素泊まりの宿泊ができるようになりまし。10月には「日本で最も美しい村」連合東北ブロック会議の会場の1つにもなりました。

また、8月にオープンした「いいたて村の道の駅までい館」は、花玉の美しい「までいホール」が特徴で、村のネットワーキングを生かした多彩な商品が注目を集めています。数々のイベントも開催され、交流センター「ふれ愛館」と共に、内外の人々の交流の拠点にもなっています。そして、来年度から村内で再開する小中学校、開園する認定こども園の準備も進みました。来年度の就園・就学希望者が大幅に増加したことは、熱意をもって準備にあたりつた関係者を大いに勇気づけました。

一歩一歩ですが、ここには挙げきれない多くの村民の挑戦、復興事業の前進が、積み重ねられた平成29年でした。新しい年が幕を開けます。皆さんはどんな一年を思い描いていますか。

## いいたて四季彩景 ● 冬の木立と青空



雪雲が去り、抜けるような冬の青空が広がりました。木立の枝が切り絵のよう。(関沢地区にて)

### CONTENTS 目次

- 3 特集 新しい年を迎えてー
- 6 新春のあいさつ
- 8 復興を歩む “被災者と呼ばないで”
- 10 議会報告 12月議会定例会
- 12 お知らせのページ 農業委員会の新制度 ほか
- 14 いいたて便り
- 16 つながるアルバム
- 18 お知らせ
- 19 入札結果
- 20 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 21 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 22 フォトストーリー 幼稚園のはっぴょうかい
- 24 ホープス / 編集後記

「いいたて村の道の駅までい館」のイルミネーション点灯式。来場した子ども達が点灯スイッチを押しました。点灯は毎日午後8時半まで。1月いっぱい楽しめます。



● 表紙のおはなし ●

駐在所の建て替えが完了します

建て替え中の南相馬警察署飯館駐在所が1月中にも竣工の予定。新しい駐在所は、現在の建物の県道をはさんだ向かい側で、消防飯館分署と交流センター「ふれ愛館」の中間に位置しています。



八木沢トンネルが完成します

八木沢地区と南相馬市原町区を結ぶ県道原町川俣線の八木沢トンネル（延長約2,345m）は、平成23年度に着工した工事が順調に進み、予定より約4か月早く、この3月中にも完成する見込みとなりました。カーブや急勾配が続く八木沢峠は、特に冬季は交通の難所となっていますが、この春にも待望のトンネル開通を迎えることができそうです。

村側出入り口には飯館中学校の生徒の揮毫した銘板が取り付けられます

詳細については決まり次第改めてお知らせしていきます

4月以降の動き

- 認定こども園・小中学校が、村内の新施設で新年度をスタートします。認定こども園の入園申し込みを受け付け中です。
- 学校エリアの南側（除染土取場跡地）に、パークゴルフ場が整備されます。
- スポーツ公園エリアの陸上競技場・野球場・屋内テニスコートなどの工事が進められています。運用開始時期等の詳細は改めてお知らせします。
- 長泥行政区の特定復興再生拠点の整備計画を具体化していきます。国の実証事業も地区内で進められる予定です。
- いいたて村の道の駅までい館の北側に、公園が整備されます。

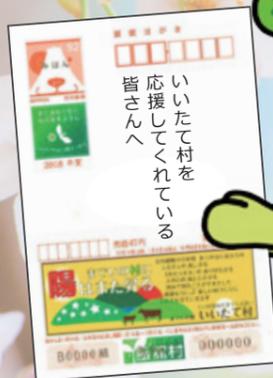
さらに1年後を見すえて

仮設住宅・借り上げ住宅の無償供与期間は、平成31年3月31日までと発表されています。自宅の建て替えほか転居の準備をされている方、転居先を検討中の方など、先々の見通しをもってご準備ください。なお、お困りの際は早めにご相談ください。

問 生活支援係

☎ 0244(562)4249

イイタネちゃんへの年賀状と、村の年賀状への感想を募集しています！



村の公式キャラクター  
イイタネちゃん



どんな校舎が  
できあがるのか  
楽しみです  
(撮影は11月)

整備が進む  
学校エリア

新しい年のあれこれニュース

1/21

新春村民のつどい

交流センター「ふれ愛館」で午前10時から開催します。平成29年の10大ニュースの発表や、さとう宗幸さんのコンサート、大抽選会などをお楽しみください。株式会社セガサミーの協力による遊びのコーナーも充実しています。ご家族そろってご来場を！参加申し込みを受け付けています。豪華賞品が当たる10大ニュースも募集中！

問 総務課企画係

☎ 0244(42)1613

3/31

飯野支所の閉鎖

村役場の飯野支所は、今年度をもって閉鎖となります。ご利用いただいていた皆様にはご不便をおかけしますが、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。今まで飯野支所に置かれていた生活支援係は、4月以降、松川第一応急仮設住宅の集会所内で業務を行うよう準備を進めています。

## 年頭のあいさつ



飯館村長  
菅野 典雄

村民の皆さん、明けましておめでとうございます。平成30年のスタートです。月日の経つのは、本当に早いものです。この1年間、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。

昨年3月31日に長泥を除いてという残念さの中で、避難指示解除となりましたが、まだまだ大変な生活を強いられている方が多いのではないかと案じているところです。

村としては、少しでも皆さんの生活環境がより良くなるよう最大の努力をしているものの、一人ひとりには思うようにも対応出来ず申し訳なく思っているところです。しかし、飯野支所のスタッフや社会福祉協議会の皆さん、健康福祉課の職員などを中心にそれなりにあります。足を運ばせていただいていますので、何なりと今後のことについてなどご相談ください。

昨年は、復興らしき動きがたくさんありました。「いいたて村の道の駅までい館」のオープン、各農業分野の再開や村内産の農産物販売も一部ではありますが可能になっています。小中学生たちの活躍もめざましい中で、学校再開に向けての準備も着々と進んでいます。

村内には、サポートセンター「つながっぺ」もオープン出来ましたし、交流センターにも多くの村民に足を運んでもらっています。昇口舗装も村内あちこちで見受けられます。また、昨年は村の

## までいな心を忘れずに



飯館村議会議長  
菅野 新一

村民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故による全村避難から今年で7年が経ち、去年の3月31日をもって、長泥行政区（帰還困難区域）を除き避難指示解除となりましたが、まだまだ、多くの村民の皆さんはそれぞれの事情により、解除となつたとはいつても、今もって狭い仮設住宅や借り上げ住宅などで不慣れな環境にて不自由な生活を過ごされており、村民を代表する議会人として誠に申し訳なく思っております。

そうした中、村民の帰村人口は今現在8%程度となっており、少しずつ増えておりますが、全村避難が想定以上に長くなり多くの課題を残したと痛感しております。これまで、「いいたて村の道の駅までい館」をはじめ、「メモリアルホールいいたて」、「コミュニティ施設の交流センター」「ふれ愛館」、村民の生命と財産を守っていた消防飯館分署など、インフラ整備も村内において復興と再生に向かつて一歩ずつではありますが、施設整備が着実に進んでおり、文化祭など各種イベントも村内で開催されています。

中の取り組みに対し、いろんな賞をいただいた年でした。解除の折の新聞広告は、日本新聞広告協会広告賞優秀賞、長泥行政区が出版された本は、福島民報出版文化賞正賞に輝きました。飯館中には「ふるさと学習」で博報賞文部科学大臣奨励賞もありました。飯野町復興住宅も現在、福島県建築文化賞に手を上げるところです。さらには、村のメッセージ入りの30万枚の年賀状の販売など一つひとつ前向きに事業を進められています。したがって、それぞれの関係者の努力に感謝の気持ちで一杯です。

最後に、避難指示解除の折、「陽はまた昇る」宣言を致しました。その文を、もう一度、村民の皆さんで噛みしめながらこの一年をさらなる復興に向けて進んでいただきたいと思います。

いいたて村に「陽はまた昇る」宣言

6年におよぶ避難指示が解除されました

この日を待ちかねて 村に帰る人

長い避難の影響ですぐには 戻れない人

避難先で暮らし 村の行く末を見守る人

はじめの一步はさまざまです

それでも

小さな子どもが 自然の中で遊び

年寄りが畑で 笑っていて

若者が 恋を語る

そんなかつての村の姿を

私たちは一歩一歩取り戻していきます

飯館村が再び輝くまで 決してあきらめない心で：

までいの村に 必ず陽はまた昇ります 昇らせませ

村民の皆さんにとって、昨年よりさらにより年になりますよう、心より念じ新年のあいさつとさせていただきます。

新年度となる4月からは、村外での仮設校舎ではなく、村に戻って幼保・小中一貫校として、新しい校舎での学校再開となり、児童生徒には心躍る希望に満ち溢れた新学期を迎えられることと期待しています。

また、災害公営住宅関係では、大谷地住宅をはじめ深谷・白石・飯樋その他、多くの村営住宅の建て替えや改修がなされ、村民の皆さんが入居できるよう整備されつつもあり、農業関係では水稲をはじめ、花卉栽培・野菜など営農再開がなされており、村の基幹産業である畜産で前向きにがんばっている方もおります。

我々、村議会議員が情熱をもち協力と一致団結をし、村民の皆さんの声に寄り添いお聴きし、「までいな心を忘れずに」豊かな村づくりと復興に全力で、ふるさと飯館村で全ての皆さんが豊かに安心して暮らせるように取り組む所存であります。

どうか、今年も一層のご指導・ご協力を賜り、元気な村議会でありますようお願い申し上げますとともに、今年も皆さんにとつて幸せ多い年でありますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

## Don't Call Us Victims

Iitate Junior High School Ami Sato

I have a word which I don't like to say. It's "hisaisha", which means a victim of disaster. I am not a victim anymore. I'm tired of being called a victim.

On March 11th, 2011, a big earthquake hit us. It was the most powerful earthquake ever recorded in Japan. And it brought about 16,000 deaths, 6,000 injured and 2,500 people missing across twelve prefectures. What's more, 230,000 people ended up living away from their homes because of, as you know, the nuclear accidents caused by the tsunami. Everyone was desperate.

I am one of them. Although I live near Fukushima city now, I lived in Iitate village until that day. When my family heard the news about the accident at the nuclear power plant, they decided to take refuge in Tochigi Prefecture without my mother, who was working in Iitate. I spent a lot of anxious nights worrying about her.

I'd like to ask you: What do you know about us? And how did you know that? Many people usually get information through mass media and they believe it as truth. Actually, I have watched TV programs about the disaster and also been interviewed about my experience many times. Just doing a little thing causes them to cover it. So we try to broadcast the reality that we are working hard. We want you to know that we are moving on. However, I feel that the reports have become biased. Footage and interviews were made into exaggerated stories. They are just making us out to be victims. Must we keep being victims forever as they expect?

Indeed, "hisaisha" tend to be regarded as miserable. However, I don't feel that way. "Hisaisha" is not always miserable. When the earthquake hit us, we got a lot of support from all over Japan, or rather all over the world. For example, I joined a camp with a lot of foreign people to brush up my English. During that time, I met some precious people who encouraged me. Thanks to that, I found I really loved English. And there, I've found my dreams. I want to go to America. I want to learn more about this world. I want to be a teacher.

We are not special. We study like everyone else. We go out to find what we want like everyone else. We have dreams like everyone else. The 6 years since that day gave us enough power to stand on our feet. What I am now is a result of my resistance against the disaster.

Now we can do anything if we never give up. I am working hard to learn even more about Iitate village. Through this study, I made a movie with my friends to broadcast about the reconstruction of our hometown. We can create our future by ourselves. We don't want to use the word "hisaisha" anymore. We are people who can live looking forward.

## 被災者と呼ばないで

飯舘中学校 佐藤安美

私には口にしたくない言葉があります。それは「被災者」という言葉です。災害による被害を被った人のことを意味します。私はもう被災者ではありません。そう呼ばれることにうんざりしています。

2011年3月11日、大きな地震が私たちを襲いました。それは日本で観測された最も大きな地震でした。1万6,000人が死亡し、6,000人が負傷、そして12の県で2,500人が行方不明となりました。さらには23万人が住み慣れた家を離れ、避難を余儀なくされました。津波によって原発事故が引き起こされたからです。誰もが必死になっていました。

私もその一人です。今は福島市の近くに住んでいますが、その日まで私は飯舘村に住んでいました。私の家族は、原発事故のニュースを聞いて、飯舘村で働く母を残して、栃木県に避難することを決めました。母のことを心配しながら、私は不安な夜を過ごしました。

会場の皆さんにお聞きします。私たちについてどんなことを知っていますか。そしてそれをどうやって知りましたか。多くの方はメディアから情報を得て、それを真実だと信じています。実際に私は震災についてのテレビ番組をたくさん見ましたし、インタビューもたくさんされました。ほんのちょっとしたことでさえ報道されました。だから、私たちは一生懸命がんばっているという事実を皆さんに伝えようとしてきました。「私たちは着実に前進している」そんな事実を皆さんに知って欲しかったからです。しかしながら報道には偏見が入っているように感じます。映像やインタビューは誇張した話で作られています。私たちをただの被災者に仕立て上げるのです。彼らの望む通り、私たちは永遠に被災者であり続けなければいけないのでしょうか。

確かに、被災者はみじめなものとして受け取られがちです。でも私はそうは思いません。被災者は必ずしもかわいそうではないのです。地震が私たちを襲ったとき、私たちは日本中、いや世界中からたくさんの支援をいただきました。例えば、私は英語力を磨くために、外国の人と一緒にイベントに参加しました。そこで私を勇気づけてくれるかけがえのない人々に出会うことができました。そのおかげで、私は本当に英語が好きなんだということにも気づきました。そこで私は夢も見つかりました。私はアメリカに行きたい。この世界のことをもっと学びたい。そして将来教師になりたい。

私たちは特別ななんかじゃない。みんなと同じように勉強するし、やりたいことを見つけに外にも飛び出します。みんなと同じように夢だって持っています。あの日からの6年間で、私たちに、自分の足で立つ十分な力を与えてくれたのです。今、ここにいる私は、震災に対して必死に抵抗した結果なのです。

私たちは諦めなければ何でもできます。今、私はふるさとについて一生懸命学んでいます。この学習で、私たちは飯舘の復興を発信するための動画を作りました。私たちは、自分たちの未来を、自分たち自身で創っていくことができます。私たちは被災者という言葉をもう使いたくはありません。私たちは、前を向いて生きているのです。

復興を歩む

vol.33

被災者と呼ばないで

高円宮杯全日本中学生英語弁論大会に福島県代表として出場した飯舘中学校3年の佐藤安美さん。11月に大会の全日程が終了し、原稿の公開が可能になりました。スピーチの全文を掲載させていただきます。被災者との向き合い、その経験すら力に変えていこうという安美さんの思いに、耳を傾けてみてください。

# 平成29年 第12回 飯舘村議会定例会



平成29年12月議会定例会は、12月8日から12月15日までの日程で開かれました。一般質問は12・13日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は15日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

## 今議会で可決された議案等

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 一般会計補正予算(第9号)
- 飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 飯舘村介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 村立認定こども園設置条例
- 飯舘村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- 飯舘村農業委員会の委員等の定数に関する条例
- 飯舘村公告式条例の一部を改正する条例
- 飯舘村表彰条例の一部を改正する条例
- 職員の子供休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 飯舘村営住宅条例の一部を改正する条例

飯舘村の休日等を定める条例等の一部を改正する条例

- 花卉栽培・多目的広場造成工事請負契約の変更について
- 復興住宅エリア造成工事請負契約の変更について
- 一般会計補正予算(第10号)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 飯舘村介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 飯舘村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 農業集落排水草野地区処理施設水処理機器更新工事請負契約
- 飯舘村学校等再開整備事業工(第1工区)請負契約の変更
- 飯舘村学校等再開整備事業工(第2工区)請負契約の変更
- 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(飯舘村深谷復興拠点地内第2号)請負契約の変更
- 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(7区肉用牛用施設)請負契約の変更
- 人権擁護委員の候補者の推薦について

## 村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

### 帰還困難区域である長泥地区の特定復興再生拠点整備計画

長泥地区は村で唯一の帰還困難区域に指定されており、一日も早く安心してふるさとに帰村できる環境整備が課題です。現在、地元では、コミュニティセンターを中心としたエリアを復興拠点とし、集会所、宿泊施設、復興住宅、公園、農地などの整備が検討されています。

今後、国・県・地元・村の4者で具体的なエリアゾーンの設定と復興事業の整備計画について詰めを行い、平成30年3月頃までに国への提出を考えています。拠点整備には、地元の意見を十分尊重し、計画に盛り込んでいきます。

### 行政区ヒアリング

行政区ヒアリングを実施し、営農再開に向けた農地整備の早期実施やフレコンバッグの早期搬出などの要望が出されました。村では、これらの課題にできるものから速やかに対応していきます。

### 共同店舗の設置

2年ほど前から商工会が中心となり、旧テレサ建物の改修・設置で検討を重ねてきた共同店舗ですが、残念ながら村内の店舗希望者が1店舗のみとなったこと、さらには施設運営や経営的な面での不安要素が多いことなど総合的に判断し、事業を取りやめることとしました。

### 村内産農産物7年ぶりに販売再開

全村避難から7年ぶりに、村内産の農産物が販売再開を果たしました。

道の駅では、サヤインゲン、ナス、ピーマン、ジャガイモ、ニンジン、白菜などの野菜のほか、カスミソウなどの花卉、うるち米の「里山のつぶ」など、「村内産」を前面に打ち出した農産物が、好評をいただいています。

### 有害鳥獣対策

対策実施隊により11月までに

### あいの沢・宿泊体験館きり

「あいの沢管理棟」と「民家園ふるさと」ですが、来年4月の利用再開に向け、修繕工事を進めています。「あいの浮橋」の修繕についても、年度内に竣工の見込みです。

次に、宿泊体験館きりの利用状況ですが、10月末までの利用者数は4,654人で、うち、宿泊者は1,383人でした。

### 地方教育行政功労者表彰

11月1日、佐藤真弘委員が地方教育行政功労者表彰を受賞しました。

佐藤委員は、平成16年から12年間、教育委員を務められ、うち平成23年から平成28年までの4年半は教育委員長として村の教育振興に尽力されました。

### 学校再開に向けた取り組み

学校再開工事ですが、現在、第1工区、第2工区ともに、来

年4月の開校に支障の無いよう工事を進めています。

次に、10月に実施した就学意向調査の結果ですが、中学2年生以下の全児童生徒420世帯・742人中、村の認定こども園に通うと答えた方は19人、小学校は28人、中学校は43人の合計90人となりました。

通学手段の確保や一人ひとりの子どもに寄り添う少人数教育の良さ、学用品や給食などの無償化、学校施設の充実など、今後も魅力ある教育内容の充実に努めていきます。

### スポーツ公園整備

スポーツ公園整備は、8月の長雨の影響により陸上競技場工事が繰り越し事業となる見込みです。野球場についても、天然芝の養生が必要であることから、陸上競技場と野球場の使用開始時期は来年夏頃になる見込みです。

屋内・屋外テニスコート、管理棟、駐車場は4月に供用開始の予定です。

12月7日、病気のため、入院治療中であつた大谷友孝議員がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 農業委員会制度が大きく変わります

平成28年4月1日より「農業委員会等に関する法律」が改正されました。

「農地等の利用の最適化の推進」が農業委員会のもっとも重要な事務として位置づけられ、農業委員に加え、新たに「農地利用最適化推進委員」が設置されました。

飯館村では、現農業委員の平成30年7月7日任期満了後に新制度へと移行します。

### 新しい農業委員会制度

#### 1. 農業委員会の役割

従来の農地法等による法令業務だけでなく、農地等の利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進が必須業務となりました。

#### 2. 農業委員は村長の任命制となりました

農業委員会法の改正により、農業委員はこれまでの公選制から、村議会の同意を要件とした村長の任命制となりました。

#### 3. 農業委員の任命にあたって、推薦と公募が実施されます

任命制になったことにより、農業委員の選出方法も変わりました。

村長が、農業者、農業者が組織する団体、その他関係者に対し、候補者の推薦を求めるとともに、農業委員になろうとする者を公募します。また、推薦と公募の状況については、推薦公募期間の中間点において一度公表し、期間の終了後はその結果を公表することが義務付けられました。

なお、農業委員の選出にあたっては、次の点に留意して選出することとなっています。

- 農業委員の過半数は原則として認定農業者とすること。
- 利害関係を有しない者が含まれるようにすること。
- 青年・女性を積極的に登用すること。

#### 4. 農地利用最適化推進委員が新設されました

農地利用最適化推進委員は農業委員と密接に連携し、人・農地プランなど地域の農業者などの話し合いを推進したり、農地パトロールや農地利用状況調査等の現場活動を行います。

【農業委員】… 委員会で農地法に関する許認可の審査などを行う

【推進委員】… 担当地区において現場活動を行い、必要により委員会などで意見を述べる

### 農業委員と農地利用最適化推進委員の推薦・応募について

#### 1. 推薦・応募

農業委員又は農地利用最適化推進委員に推薦・応募する場合には、所定の様式により行うようになります。詳細については、今後村ホームページ、広報などでお知らせします。

#### 2. 推薦・応募の期間

推薦・応募の期間は、おおむね1か月とします。詳細については、今後お知らせします。  
※来年4月を予定しています。

問 飯館村農業委員会 (☎0244-42-1629)



▲12月18日、相農飯館校での表彰式の様子

村教育委員会は、自分の好きな本を推薦する第18回読書メッセージコンテストを開催し、応募総数121通の応募がありました。その中から最優秀賞には、菅野彩七さん(相農飯館校3年)が書いた「いつか別れる。でもそれは今日ではない」の読書メッセージが選ばれました。

村では、下記の推薦図書をはじめ、移動図書館あら号で本の貸し出しを行っていますので、ぜひご利用ください。

私のおすすめ  
紹介します

**最優秀賞読書メッセージ**  
彩七さんおすすめの本  
「いつか別れる。でもそれは今日ではない」  
眠れない夜や思い悩む夜におすすめのエッセイ本です。少し冷めた言葉やその特徴ある言葉選びは下手にあたたかい言葉よりもずっと現実的で前を向けるなど思いますが、ぜひ、好きな言葉・お気に入りの一文を探してみてください。

自分の好きな本をおすすめできて、嬉しいです。最優秀賞に選ばれたとは思っていませんのでびっくりです。



最優秀賞  
菅野 彩七さん  
(相農飯館校3年)

読書メッセージ審査結果  
(敬称略)

- 最優秀賞**  
「いつか別れる。でもそれは今日ではない」  
菅野 彩七 (相農飯館校3年)
- 優秀賞**  
「いつか、眠りにつく日」  
佐藤 未姫 (飯館中1年)
- 「きみの友だち」  
佐久間 瞳 (相農飯館校3年)
- 「紙の動物園」  
北原 康子 (大倉)
- JPIC賞**  
「挨拶ー原爆の写真によせてー」  
佐藤 安美 (飯館中3年)
- 「アンネの日記」  
高橋 ひな子 (飯館中3年)
- 「あなたの人生の物語」  
菅野 千那 (相農飯館校3年)
- 「最初の質問」  
七海 友紀 (相農飯館校3年)
- 「セツナトリップ」  
井上 成美 (飯館中1年)

### まるごと測って、確認しましょう

村では、自家消費する食品専用の非破壊式食品放射性物質測定器を設置しています。食品700gを準備いただき左記の測定所をご利用ください。

○この検査は「自分が食べる」ための確認検査です。検査結果にかかわらず、「人にゆずること」「販売すること」はできません。

問 復興対策課除染対策係  
(☎0244-42-1625)

測定所	受付曜日	受付時間
いいたて村の道の駅までい館	定休日除く毎日	午前10時～午後4時
いちばん館	月～金	午前9時～午後4時30分
小宮コミュニティセンター	月・水	午前9時～午前11時30分
大倉体育館	木	午前9時～午前11時30分
前田公民館	火・金	午前9時～午前11時30分
二枚橋会館	火・金	午後1時30分～午後4時

## 支え合う地域の事例を学ぶ 「認知症を考える会」



村民、村社協職員、村職員らが参加。高齢者の暮らしを地域で支え合う多様な事例が紹介されました

12月5日、地域活性化センター「いちばん館」で、村地域包括支援センター主催の「認知症を考える会」が開かれました。会は5回目、今年度の最終回。全国各地で住民主体の地域づくりに関わるNPO法人「全国コミュニティライフサポートセンター」代表の池田昌弘さんが講演しました。池田さんは、小さなコミュニティが持つ支え合いの力や、地域で暮らし続けるための各地の取り組みについて、豊富な事例を紹介。参加者は、村の地域づくりに生かそうと、熱心に耳を傾けました。

## 村民とのワークショップ 福島 I P E 研究協議会



さまざまな立場の人が「ごちゃまぜ」になって現在の課題や今後の村づくりについて語り合いました

11月25日・26日の両日、「福島IPE(多職種連携教育)研究協議会」が、「ごちゃまぜIPEステーションいいいて」事業のフィールドワークを実施し、医療や福祉を学ぶ学生たちが、県の内外から、伊達東急仮設住宅や村内を訪れました。交流センター「ふれ愛館」ではワークショップが行われ、村民や村の関係者が学生たちと語り合い、学生たちの提案にも耳を傾けました。同協議会では、引き続き2月3日に、医療福祉に関するシンポジウムを開く予定です。

## 年末年始の防犯を呼びかけ 村防犯指導隊がパトロール



あぶくま信用金庫飯館支店で。金融機関等5か所をめぐり職員や来店者にチラシ等も配布しました

毎月のパトロール等で、村内の防犯に努める村防犯指導隊(菅野敬隊長/関根・松塚)が、12月15日、南相馬警察署と合同で、年末年始に向けた防犯パトロールを実施しました。出発式では、菅野隊長が「7年ぶりの実施。何も事件のない年末年始にしたい」とあいさつ。南相馬警察署生活安全課の大津聡課長は、「村内の犯罪発生率は前年比で大幅に減少しているが、さらにパトロール等を強化したい」と述べました。一同で金融機関等を巡回し防犯を呼びかけました。

## 星代四行さん(上飯樋) 瑞宝章の受章を村に報告



写真中央が星さん。右は同行した小谷津芳秀相馬地方広域消防本部消防長。左は愛澤総務課長

第29回危険業務従事者叙勲で瑞宝単光章を受章した星代四行さんが、11月22日に村役場を訪れ受章を報告しました。瑞宝章は、社会的・公共的な業務における長年の功績に贈られる勲章です。星さんは、震災時、相馬地方広域消防南相馬消防署鹿島分署長として行方不明者の捜索などにあたり、平成23年6月からは飯館分署長として避難の村内で職責を果たしました。「自分などが叙勲を受けるとは考えもしませんでした」と、関係者への感謝をこめて報告を行いました。

## 村の交通指導隊による 交通安全街頭キャンペーン



「交通安全で良い年をお迎えください」。道の駅を訪れたドライバーに安全運転を呼びかけました

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動に合わせて、12月19日、村の交通指導隊(渡邊茂興隊長/飯樋町)が、南相馬警察署やウルトラ警察隊の警察官らと、いいいて村の道の駅までい館で、「交通安全街頭キャンペーン」を行いました。南相馬地区交通安全協会飯館分会の只野俊会長(前田・八和木)が「事故が多発する季節。発生を1件でも減らしたい」とあいさつし、キャンペーンはスタート。全員で、グッズやチラシを手渡ししながら、安全運転を呼びかけました。

## J A ふくしま未来から 安心・安全な暮らしへの支援



地域見守り活動に関する協力協定締結式は村役場で行われました。左から2人目が半谷常務理事

J A ふくしま未来から、2つの支援をいただきました。12月1日には、LEDライトを使用した防犯灯20基の寄贈があり、また同7日には、住民の異変に気づいた時に通報・連絡を行う「地域見守り活動に関する協力協定」が村との間に結ばれました。協力協定締結式では、J A ふくしま未来の半谷善弘常務理事が「一体となり地域を見守りたい」と活動の推進を約束。菅野村長は「村としても安心・安全な地域づくりをしっかりとやっていく」と述べ、協力に改めて感謝を表しました。



歌やダンスを披露したり一緒にゲームを楽しんだり

草野・飯樋・白石小学校の1、2年生が、特別養護老人ホーム「いいいてホーム」を訪れ、入居者と交流しました。小学生のホームへの訪問は、震災後初めてのことで、児童たちは、それぞれ自己紹介をして、発表会でも演じた音楽劇や和太鼓を披露しました。また、玉入れや歌を一緒に楽しむコーナーもあり、かわいらしい児童との触れ合いに、入居者が笑顔で応えていました。



手づくりのブーケもプレゼント。笑顔で記念撮影

草野・飯樋・白石  
小学校

11/28

11/17

飯舘村  
民生児童委員  
協議会



協力しながら施設の入口に花や球根を植えました



花が彩るエントランス。1週間後のようすです



飯舘中学校

12/1

旧飯野小仮設住宅  
旧明治小仮設住宅  
飯舘村飯野町団地

11/27



プランターを届けてくれた4人の生徒と村職員

飯舘中学校の「ふるさと学習」で活動する「ものづくり班」が、木製のプランターカバーを製作し、村役場や仮設住宅に寄贈しました。水に強い塗料での仕上げや、花の移植などは、学校近くの仮設住宅で村民と共に行動したそうです。生徒たちは「花の植え替えなどもしていきたい」と思い、受け取った村職員が「若い方に心を寄せていただき心強い」と感謝を伝えました。



かわいらしい木製プレートの装飾も手作りです

福島市の「笑顔つなぐまち交流事業」に、飯野地区に避難する村民11人が参加して、明治中央町内会の皆さんと交流しました。これは、原発被災地の避難者と避難先の住民の交流を促進しようと毎年実施されている事業で、今年は飯坂温泉の旅館を会場に、健康体操教室が開かれました。入浴や会食などでも交流し、村民らは改めて、地域の皆さんに感謝を伝えていました。



和室で楽しく健康体操教室。皆で体をほぐしました



長くお世話になっている地域の方々と和やかに交流

# 入札結果をお知らせします

入札日／7月7日 (単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
村民コミュニティ構築支援ICT事業アプリケーション保守業務	2,116,800円	(株)福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
村民コミュニティ構築支援ICT事業アプリケーション用サーバ利用料	4,294,080円	(株)福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
国保情報集約システム対応に係る国民健康保険システム改修	1,749,600円	(株)福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
飯館村防犯設備機能回復事業設計業務	982,800円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成29年8月上旬
飯館村教員住宅改修工事設計業務	1,382,400円	(株)邑建築事務所	平成29年9月下旬

入札日／7月24日 (単位：円)

飯館村サポートセンター運營業務	36,482,400円	(福)飯館村社会福祉協議会	平成30年3月下旬
-----------------	-------------	---------------	-----------

入札日／8月4日 (単位：円)

消防団第二分団機動部屯所屋外附帯工事	2,538,000円	(株)古俣工務店 川俣支店	平成29年9月下旬
包括支援センター訪問車購入	2,271,240円	渡辺輪業自動車整備工場	平成29年12月中旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備工事(13区トマト栽培用)	144,180,000円	大内わら工品(株)	平成30年2月上旬
被災地域農業復興総合支援事業基幹事業 農業用施設等整備工事(7区内用牛用施設)	97,200,000円	(株)アシストジャパン	平成30年3月上旬
大火山ツツジの森整備工事	18,144,000円	(有)福相建設	平成30年1月下旬
パークゴルフ場管理棟等実施設計業務	3,996,000円	松本建築設計事務所	平成29年12月下旬
パークゴルフ場測量設計業務	15,660,000円	(株)福建コンサルタント	平成29年12月下旬
福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路補修工事(草野1期)	16,200,000円	後藤建設工業(株)	平成30年3月下旬
福島再生加速化交付金事業 簡易水道監視設備等整備測量・調査設計業務	24,840,000円	(株)東亜コンサルタント	平成30年3月下旬
福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路舗装修繕工事(草野字赤坂地内外)	1,620,000円	濱田建設工業(株)	平成29年11月下旬
道路等修繕調査測量設計業務(草野字大師堂地内外)	7,236,000円	アジア航測(株)	平成29年10月下旬
第4号 帰還再生生活道路整備工事(比曾字比曾地内外)	16,416,000円	濱田建設工業(株)	平成29年12月中旬
第5号 帰還再生生活道路整備工事(比曾字比曾地内外)	16,092,000円	(有)福相建設	平成29年11月下旬
第6号 帰還再生生活道路整備工事(比曾字上比曾地内外)	14,752,800円	(株)英工務店	平成29年11月下旬
第7号 帰還再生生活道路整備工事(比曾字中比曾地内外)	20,520,000円	(株)東栄	平成29年11月下旬
第1号 基盤整備促進事業 飯館1期 野沢第1地区	6,318,000円	(有)渡建工業	平成29年12月下旬

入札日／8月24日 (単位：円)

第2号 基盤整備促進事業 飯館1期 野手神第1地区	8,046,000円	(有)福相建設	平成29年11月下旬
いいたてっ子交流事業業務	1,412,320円	(株)近畿日本ツーリスト東北 福島支店	平成29年9月下旬
飯館村役場第一会議室照明器具入替工事	2,160,000円	(有)長谷川電気工事	平成29年10月下旬
選挙システム(村議会議員一般選挙)運用支援業務	1,080,000円	(株)福島県中央計算センター	平成29年9月下旬
飯館村防犯設備機能回復工事	45,144,000円	(有)鹿山電気商会	平成30年3月下旬
飯館村防犯設備機能回復工事監理業務	2,041,200円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年3月下旬
ふくしま森林再生事業 飯館村全体計画作成業務	3,650,400円	(株)パスコ 福島支店	平成30年3月下旬
宿泊体験館きこり及び自然体験学習館屋根塗装等工事	18,792,000円	(株)古俣工務店 川俣支店	平成29年12月下旬
あいの沢管理棟修繕工事	3,996,000円	(株)英工務店	平成30年1月下旬
民家園ふるさと修繕工事	22,140,000円	(株)英工務店	平成30年1月下旬
あいの浮橋修繕工事	19,980,000円	ゼニヤ海洋サービス(株)東京営業所	平成30年1月下旬
宿泊体験館きこり及び自然体験学習館屋根塗装等工事監理業務	1,641,600円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成29年12月下旬



## 「おかえりなさい」補助金 200件 達成!

12月8日、村が帰村の引っ越し費用の補助として一律20万円を補助する飯館村「おかえりなさい」補助金の200件目の申請があり、記念のセレモニーが行われました。

この日、200件目の申請を行ったのは佐藤陽一さん(前田)です。「新しい家は仮設住宅と違って暖かいです」と帰村した思いを話しました。



▲佐藤さんには、毛布や衛生用品など記念品が贈られました

## おかえりなさい補助金申請 受け付けしています

村では、「おかえりなさい」補助金の申請を受け付けています。申請をする方は、身分証明書・通帳(写し)・印鑑をご持参の上、住民課住民係に申請してください。

○対象となる方…平成28年7月1日から平成32年3月31日までの間に、帰村のための引っ越しをした方で、村へ避難先変更の届け出をされた方。  
※避難先変更の届け出は、飯野支所での手続きとなります。

○補助の範囲…震災前の1世帯につき1回、20万円

問 住民課住民係 (☎0244-42-1619)

## 12月の村の動きと主なできごと

- 3日・小宮地区農業基盤整備事業説明会(小宮コミュニティセンター)
- 4日・読書感想画コンクール表彰式(草野・飯櫃・白石小学校)
- 5日・相農飯館校の再生を考える会(村役場本庁)
- ・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(飯野支所)
- 7日・第2回自治組織連絡協議会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・JAふくしま未来との地域見守り活動に関する協力協定締結式(村役場本庁)
- ・新春村民のつどい実行委員会(地域活性化センター「いちばん館」)
- 8日・飯館村「おかえりなさい」補助金 申請200件達成(村役場本庁)
- 10日・伊丹沢地区農業基盤整備事業会議(伊丹沢集会所)
- 8〜15日・12月議会定例会(村役場本庁議場)
- 14日・更田豊志原子力規制委員長の来庁(村役場本庁)
- ・いいたて村の道の駅までい館 イルミネーション点灯式(いいたて村の道の駅までい館)
- 18・22・24日・読書メッセージコンテスト表彰式(相馬農業高校飯館校他)
- 20日・第4回認定こども園教職員採用並びに運営等検討委員会(村役場本庁)
- ・第7回学校運営協議会(飯館中学校)
- 22日・第12回農業委員会定例会(村役場本庁議場)
- ・定例教育委員会(村役場本庁)
- 23日・「ふくしま大交流フェスタ」出展(東京都千代田区・東京国際フォーラム)
- 26〜28日・信州まつもと子どもキャンプ(長野県松本市)
- 27日・第2回相馬農業高校飯館校の在り方に関する検討協議会(県庁)

## 足るを知る

### こころの ぽけっと

この震災に遭った時、ある方から文字が組み合わされたような色紙をいただきました。何だろうと思つて調べてみたら、京都の龍安寺に水戸光圀公が贈ったと伝えられる「知足のつくばい」というものだそうです。上から見ると「吾」に見え、右からは「唯」となり、下から見ると「足」であり左からは「知」に見えるものです。つまり「吾・唯・足・知」で「われ、ただ足るを知る」となる訳です。「幸せ」の本質は「足る」を「知る」とになりまよといひましめ言葉だったのです。人に「幸せ」を与えたり、運んでくれたりするものには3つあるという話を聞いたこともあります。

1つ目は「もの」です。お金や車や服ですかね。2つ目は「環境や状況」です。美しい山の見える所に住んでいたり、家族と一緒に住んだりするといふものです。3つ目は「心」だそうです。

1つ目は、たとえ500万円貯まっても、もつともつととなるはず。2つ目は、たとえ美しい風景の所に住んでいても「美しいな」と思う心がなければただの景色です。家族と一緒にいてもいがみ合っていれば、苦痛ではありません。つまり「幸せ」は外的なもので決まるのではなく、「心」の持ち方次第ということ。それが「われ、ただ足るを知る」という言葉になったということが分かりました。「足るを知る」ことが、幸せの根源」と悟っていた方だったので、水戸黄門のテレビ番組が流行ったのでありましようし、正に政治だけでなく、生き方の達人だったのだらうと思ひます。家族そろつての正月の話にしていただければ幸いです。

平成29年12月12日 飯館村長 菅野 典雄

## おくやみ

氏名	年齢	行政区	氏名	年齢	行政区
大澤 トシ子	78	上飯樋	高橋 好明	86	関根・松塚
佐藤 政徳	58	宮内	大島 ナヲノ	83	宮内
渡邊 コウ	81	前田・八和木	庄司 フヨノ	80	飯樋町
庄司 スイ子	83	小宮	佐藤 今朝七	82	関根・松塚
松下 二郎	80	草野	佐藤 モヨ子	84	比曾
菅野 國衛	78	佐須	菅野 スミ子	84	佐須
			佐藤 利夫	67	上飯樋
			大谷 友孝	66	小宮
			杉上 順内	91	蕨平

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月14日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

### ひとのうごき

平成29年11月30日現在		11月1日～30日までの人口動態	
人口	今月(前月比)	◆◆◆人口動態◆◆◆	
男	2945人(-17)	転入	1人
女	2961人(-11)	転出	21人
計	5906人(-28)	出生	4人
世帯数	1808戸(-3)	死亡	13人
			(住民基本台帳人口)

## ひとかたるものがたり 第10回

### 佐藤 峯夫さん(宮内)



平成9年に村振興公社から派遣され宿泊体験館「きこり」職員に。13年からは支配人。震災後の休館期間は村見守り隊の事務局長を務めました。

震災前の宿泊体験館「きこり」は、大勢の利用客でにぎわい、たくさんの花に囲まれていました。花は歓迎の気持ちをもてスタッフ皆で手入れをしていました。年々業績が良くなつていきましたから、震災さえなかったらという思いはありますね。

しかし初めからうまくいった訳ではなく、予約のハワイボードが真っ白な時期もありました。手作りのチラシを手配して、何度か通つて。初めてカラー写真入りのチラシができた時は皆で喜びました。やがて経営状況が安定しました。当時の見守り隊は24時間

定し、コンベンションホールができ、入浴施設や休憩所ができ、節句の祝い、法要、結納、結婚式も行われるようになりました。浜の方の利用客も多かったのですが、その皆さんが震災の被害に遭い、あの時は涙が流れました。配管が傷んだ「きこり」の風呂が使えず、避難して来た皆さんを「やすらぎ」の風呂に送迎しました。その後、学校が川俣町内で再開されてスクールバスの運転手を務め、「いいたて全村見守り隊」が結成されてからは、その事務局長となりました。当時の見守り隊は24時間

3交代制。隊員の皆さんは大変だったと思いますが、私はそれまでの人間関係に支えられて仕事をすることができました。「きこり」は、5月から素泊まりを再開。宿泊等の利用者数は12月までで約6500人となりました。震災前の馴染みのお客さんも訪れて「頑張れよ」と声を掛けてくれます。うれしいですよ。食事の提供も徐々に計画したいですが、それには集客につながる村の魅力をどう発信できるかが大事になりますね。

震災前は次男家族と同居していましたが、避難を経て現在は長男家族と暮らしています。家族の暮らしと地域のきずなをどうやっていこうか、悩みますね。早期退職して、自給自足の暮らしをするのが夢でした。宮内の長谷地(ながやじ)では、震災前は、ほぼ毎月集まっていた、部落の運動会では養鶏農家からもらつて来た鶏をさばいて鍋にしたり、お祭りではワインに漬けたスペアリブを焼いたり、山御講ではソバを打って刺し身を造つたりねえ、楽しかった。田舎だからこそその面白さが、たくさんあったんですよ。

## おしえてくんちえ! 堀先生

## 心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

### 相談 今年こそは、新しい自分になりたいです!

#### 堀先生

新年あけましておめでとうございます。今年1年も、良い年となることを願っています。

皆さまは、1年先にどうなっていたいですか?3年先はいかがでしょうか。5年先、10年先は?未来の自分を考えた時に、「ぜひ、これを手に入れたい」「どうしても、このようになって欲しい」ということは見つかりますか?出来る限りそれを、明確に具体的に考えるようにしてください。そして、「なりたい自分になっている未来の自分」から、今の自分を見て、どのように行動するのがよいのかを考えてみてください。なりたい自分にずっと近づいていますよ。



精神科医 堀 有伸 先生  
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係(いちばん館内) ☎0244-42-1638まで



フォトストーリー 📷 草野・飯樋幼稚園

# はっぴようかい

11月25日と28日の2日間、草野・飯樋幼稚園のホールで「はっぴようかい」が開かれ、園児たちが、練習を重ねてきた劇やお遊戯、合奏や歌を披露しました。

アイドル顔負けのキュートなダンス、凛々しい和服姿のお遊戯、しっぽをつけて動物になりきった劇など、ステージは、名場面の連続です。観覧に訪れた保護者や祖父母、兄弟らが、多彩なプログラムに、盛んな拍手を送り、カメラやスマートフォンで、愛らしい我が子の姿を映像に収めていました。



できることから仲間と共に

大内 亮さん (八木沢・芦原)



大内測量設計事務所の専務取締役としてさまざまな復興事業の現場に携わっています。村商工会青年部の部長は平成29年から務めています。

HOPES  
ホープス セカンド  
2nd

12月14日、いたたて村の道の駅までい館のイベント広場に、イルミネーションが灯りました。1月末(予定)までの期間限定で、訪れる人を楽しませてくれるロマンチックな光のおもてなしです。仕掛け人は飯館村商工会青年部の8人のメンバー。アイデアを出し合い、高さ約5メートルのイルミネーションを完成させました。

「楽しくやっていますよ」と青年部長の大内さん。「月に1度の例会は、和気あいあい。ア



オレンジ、ブルー、ピンク…と色合いの変化でさまざまな表情を見せるロマンチックなイルミネーション。点灯は夕刻から午後8時30分まで。暖かくしてお出掛けを。(ドローン撮影：大内さん)

アイデアが出過ぎてまとめ切れなほぐです」と笑います。

青年部は、村のイベントに食や遊びのコーナーを設けるなど、震災後もさまざまな活動を行ってきました。「自分たちに行ってきたことからです。村のPRもしていきたい。村とタイアップできるような存在になっ

ていきたいですね」。

11月に道の駅で開かれたイベントでは、ピザトーストを作りました。「各地にご当地パーガーなどがありますね。いず

これは村産の野菜や牛肉などを

使った商品にもつながればとい

う思いもあって試作しまし

た」。1月には、交流センター

「ふれ愛館」で、漫才コンビ「母

心」のライブも企画。「村を盛

り上げ、メンバーと一緒に汗を

流していきたいと思えます」。

【母心ライブ】  
1月19日(金)午前11時開演  
交流センター「ふれ愛館」  
全席自由500円  
問い合わせは村商工会まで  
0244・26・7957

〈編集後記〉

●株式市場には千支別に相場の格言があり、その年の株価を占うそう。昨年の千支サルは「騒ぐ」、今年のイヌは「笑い」だそうです。周りの人が笑い溢れる年になるよう、「誰かを1日1回は笑顔にする」を心がけてみようかと。普段の何気ない生活の中に、「笑顔のタネ」はきつと、あるはず。村では1月21日に新春村民のつどいを開催します。災害救助犬じゃがいもくんも来ますので、ぜひ、ワンダーなお時間を過ごしましょう！村で、みんなで、伸びやかで盛大な初笑いをいたしましょう。(木幡)

●スミからスミまで皆さんのご協力で作られている広報紙です。気づかさ

れたり教わったり、取材という名の出

会いが、大切な思い出にもなってい

ます。昨年は、そうしてお世話にな

った方々の計報に何度か接した1年

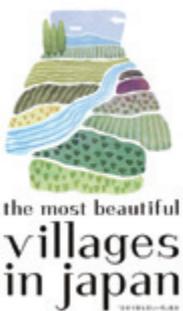
もありました。命はたくましくて、

そして儚いものと、教えていただいた

気がします。あの笑顔、忘れません。

いただいた言葉をずっと大事に。新

しい1年が始まります。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。